



学校だより

令和 2 年 3 月 2 5 日

横浜市立高田中学校

3月号増刊(第31-12号) TEL:591-4183 校長 横田 由美子

第32回卒業証書授与式

3月11日(水)に第32回卒業証書授与式が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための方針に基づき、在校生・保護者は参加できず、来賓はPTA会長のみ参加いただきました。卒業生と教職員だけの式は体育館がとても広く感じられ、いつもとは違う静けさの中で進行しました。突然の休校で練習も満足にできず、また式に向けた思いを皆で高め合う時間もないまま本番を迎えた卒業生。同じ空間で見守ってくれるはずの保護者もいらっしやらず、落ち着かない思いを抱いたかもしれません。しかし、卒業生に向けた最大の思いが込められた在校生代表の送辞や歌のビデオをじっと見入る姿、練習日数の少なさを感じさせない歌声の大きさに保護者・在校生の思いを精一杯受けとめ、自分たちの大切な節目を自らの思いで飾ろうとする卒業生の強い意気込みが感じられ、とても感動的な式となりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。どうか周りの温かさを支えに力強く進んでいってください。心より皆の幸せを祈っています。



《校長式辞》 抜粋

(前略) 皆さんは、これからの様々な情報にあふれる世の中、変化を続ける、正解が決まっていない、わからないことも多い世の中で、きちんと情報を得て判断ができる大人になってほしいし、なってくれると信じています。

①世の中に関心をもつ。②それぞれの違いを認め合う③自分の頭で

この3つに加え門出にあたり覚えておいて欲しいことばが1つあります。

「レジリエント」。

これは、「どんなに曲げてももぼきっと折れない柳のように、困難な状況でも、しなやかに状況に適応して生き延びる力をもっている状態」を指すことばです。・・・・・・(中略)・・・・

皆さんの伸びる力に、限界はありませんし、皆さんの前には希望一杯の未来が待っています。でも、未来には、困難な事や、悩んでくじけそうなきもあると思います。そんな時もみなさんには、「レジリエントな人」として、しなやかな強さを兼ね備えて乗り越えていって欲しいと思います。ピンチはチャンスです。レジリエント。しなやかに。でも、もし、くじけそうになったら、そういうときこそ、魔法の言葉、明るく(あ)楽しく(た)前向きに(ま)です。自分らしく、幸せに、生きがいを持って社会に役立っていく人になっていってください。

《卒業生答辞》 抜粹 3年2組 富本 崇正さん

卒業にあたり数々の思い出が浮かびます。仲間との団結の大切さを学んだ初めての体育祭、仲間との一体感を感じた1年自然教室、平和学習・仲間との班行動等思い出深い修学旅行。中でも合唱コンクール、高田祭は忘れることができません。生徒一人一人が責任を持ち役割を果たすことの大切さを学びました。生徒全員が協力することで行事は成功し、学校はよりよくなります。このような活発な生徒会活動をこれからも続けていって欲しいと思います。私は三年間の生徒会活動で「あいさつ」を大切にしてきました。これからの多くの出会いの中で朝の「あいさつ運動」を思い出し自分から声に出して「あいさつ」できるようにしていきましょう。これが高田地域のスローガン「あいさつでつなげていこう地域の輪」につながったら素晴らしいと思っています。在校生のみなさん、三年間はあっという間です。一日一日の大切な取り組みが自分を高め、高田中を更に素晴らしくしてくれます。そして共に過ごしてきた107名の仲間たち、これから進む道が分かれてもずっと仲間です。壁にぶつかったときに高田中での日々を思い出し乗り越えていきましょう。



《在校生送辞》 抜粹 2年3組 森久保 凜さん

二年前、小学校を卒業し不安でいっぱいの私たちを先輩方は温かく柔らかな笑顔で迎えてくださいました。部活動では緊張する私たちには部活の楽しさや厳しさを教えてくださったり、失敗したときには励ましの言葉を下さいました。体育祭では準備から運営まで一生懸命取り組んで下さったおかげでグラウンドが一体化した体育祭となりました。合唱コンクールでの素晴らしい歌声には先輩たちの最高の合唱にしたいという思いが込められていました。高田祭では今年初めての試みだった1本グランプリや有志団体の完成度の高さに体育館全体が歓声と手拍子に包まれました。この雰囲気を引き継いでいきたいと強く思いました。ここまで先輩たちが教えてくださったことを必ず引き継ぎ、高田中が笑顔溢れる温かな学校であり続けるよう頑張っていきます。





【たか中シネマ】

2月27日。中止となった卒業遠足（ディズニーシー）の代わりに、せめても学校で楽しいことを、と、教職員コラボで「たか中シネマ」を開設しました。

この直後、学校休業の発表が文科省から出されたため、特別時間割で予定していた『ドローンサッカー』（by オートボックス（株））や『誰もが自分らしく生きる社会へ』（by beyond girls）『認知症サポート養成講座』（by 高田地域ケアプラザ）などは残念ながらキャンセルとなりました。



【放課後学習会】

2月25日。学校・地域コーディネーターに支えられ、秋から毎月2,3回のペースで実施してきた放課後学習会の最終回でした。

アンケートに「(デキタスは) なんとやっても楽しい」との嬉しい感想もありました。ご支援ありがとうございました。

*城南進学予備校様のご厚意で、3月末までたか中生全員が自宅でデキタスを無償で使えます。特に学校から特別の働きかけはしていませんが、自発的にデキタスで学んでいる生徒さんもいます。

もしご興味あれば、この機会に体験・活用してみただければ幸いです。

【地域パトロール】

3月17日。自治会長の皆様のご理解を得、高田中地域パトロールと称して、4つの公園に分かれて教育相談と身体を動かす機会を持ちました。短い時間でしたが、天気にも恵まれ、合わせて70名近い子どもたちとそれぞれの公園で、体操に、花一もんめに、だるまさん転んだに、と、楽しい時間を過ごすことができました。

【ピカピカ たか中】

休校中に技能吏員さんたちが2階のふれあいコーナーをピカピカにしてくださいました！生まれ変わったふれあいコーナーを楽しみにしてください。さり気なく明るく手入れされた生徒昇降口や、汚れが目立つようになった教室床のワックス掛け、繁った樹木の剪定などいつも学校を明るく安全安心に張り切ってくれています。どうもありがとうございます！！

1年間のご愛読ありがとうございました。今年度も、保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。この学校だよりを通して、学校の様子を伝えてきたつもりですが、至らない部分も多々あったと思います。学校のホームページにも学校だよりの発行と同時にアップしています。ホームページ上の学校だよりは、カラー版になりますので、そちらもご覧いただけると幸いです。令和二年度も、中学校と保護者、地域を結ぶメディアとして発行していきたいと思っております。教職員一同、保護者の皆様、地域の皆様の中学校の教育活動に対するご理解とご協力に深く感謝しております。来年度もよろしく願いいたします。

